

○ 委員長報告

2月定例会本会議で報告された文教警察委員長報告は、以下のとおりです。

平成27年2月定例会

文教警察委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、いじめの防止等に係る取り組みについてであります。

このことについて一部の委員から、「いじめSTOP愛顔の子ども会議」の成果を踏まえ、児童生徒による主体的な取り組みをどう進めるのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、会議では他校の実践的な取り組みを学び、人間関係づくりを高めるためのエクササイズを行うなど、児童生徒自らが考えることを通して、いじめの防止に取り組む意欲が高まり、社会性や規範意識を醸成するなどの一定の成果があったと考えている。

こうした中、児童生徒が主体となった活動を実施した市町は、平成25年度の1市から26年度には6市町に拡大し、来年度は全市町が開催を予定している。

来年度は「いじめSTOP愛顔の子どもフォーラム」を開催し、各市町での成果を共有して横の連携を深めるほか、初年度に中学生として参加した高校生が運営することで、小・中・高校生による縦の連携を深め、子どもが主体となったいじめ防止の絆づくりに努め、県全体で対策を推進していきたい旨の答弁がありました。

第2点は、和紙芸術展示更新事業についてであります。

このことについて一部の委員から、これまでの展示状況と更新内容はどうか。

また、南予の活性化に向けて今後どう取り組むのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、内海氏の作品「密●空と海」は、平成24年9月から歴史文化博物館で展示を始め、27年2月末までの約2年半で、目標を大きく上回る約6万3千人の方に観覧いただいた。

現在、全作品19場面のうち前半9場面の展示を行っているが、27年度中に後半10場面への展示替えを行いたいと考えている。

後半部分は、秋の5連休が始まる9月19日から展示を開始し、オープニングには内海氏を招き、ギャラリートークや講演会等を開催するほか、チラシ、ポスターによる広報活動によりPRに努めていきたい。

また、南予で開催予定の博覧会のイベントや地元市町等とも連携を図りながら、内海展をはじめ歴史文化博物館の特徴を活かした多様な取組みを展開し、南予最大級の観光資源として地域活性化にも貢献できるよう努めていきたい旨の答弁がありました。

第3点は、交通死亡事故抑止対策についてであります。

このことについて一部の委員から、交通死亡事故抑止アンダー50の結果をどう検証し、今後の交通事故抑制対策にどう取り組んでいくのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、一昨年から取り組んできたアンダー50は、目標達成には至っていないものの、昨年の交通事故発生件数は5,745件で前年比947件、負傷者数は6,817人で前年比1,043人、それぞれ減少していることから、これまでの高齢者対策や「より見える・見せる・分からせる」ための街頭指導取締りに重点を置いた取組みは、一定の成果があったと考えている。

今後、交通環境の変化が大きい春季を迎えることから、新入学児童等対策として、警察官による通学路の交差点等での保護誘導活動、学校・PTA等と連携した通学路の点検等に加え、三世代交流型の交通安全教室を開催するほか、企業等に警察官が出向き交通安全に関する指導を行うなど、運転者への対策にも取り組むこととしている。

本年の交通事故発生状況は、発生件数、負傷者数とも減少傾向にあるが、死者数は20人で前年比6人増と厳しい状況にあることから、引き続き、各種取組みを推進して、交通事故抑止を図っていきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・修学旅行バス料金補助金
- ・県立学校教職員防災士養成事業
- ・国体等警衛警備準備費
- ・少年犯罪

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。